

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	加古川市立若宮小学校 職・氏名 主幹教諭 千田 哲生	研究チーム名 (児童虐待防止のあり方の研究)
-------------	-------------------------------	-----------------------------

研究テーマ分類番号 (13)

(1) 研究テーマ	
保護者や地域と連携した「児童虐待防止プログラムの開発研究」	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
4月29日	児童虐待の事例調査
5月27日	事例調査の内容分析 内 容：身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、ネグレクト等、実態をもとに検討 ○身体虐待、ネグレクト、心理的虐待、性的虐待の順に多く起こっているが、重複する事象も多く、まずは、個々の児童の実態を正しく捉えることが重要である。 ○児童虐待の大部分が就学前の子どもと小学生で起こっており、虐待の未然防止のために、小学校で計画的に取り組むことは大変重要である。
6月24日	児童虐待防止プログラムの雛形検討 内 容：「暴力から自分の身を守る」という観点から、ロールプレイや参加体験型の展開例を考え、学年に応じた授業形式のプログラムを検討した。
7月 1日	児童虐待防止をテーマにしたビデオ学習の実施 内 容：(公財)兵庫県人権啓発協会が企画制作した人権啓発映画「クリームパン」を視聴し、学校生活ではうかがい知れない児童虐待の実態と関わり方の研修を行った。
8日	児童虐待防止授業の実施 内 容：児童の自尊感情を育てるとともに暴力から自分の身を守る思いを深めさせた。事後研究会ではより強く行動に結びつくように授業改善を図った。 【研究授業の展開】 ①暴力は人の心と体を傷つける。 ②子どもには安心と自由の権利がある。 ③自分を守る3つの方法。 ④ロールプレイを実感する。 ⑤自分にもできる自信を持つ。
29日	虐待防止をテーマにした学習会 テーマ：「DVと子どもへの影響」 講 師：神戸学院大学客員教授 成 果：近年のDVの実態とDVが子どもに与える影響の深刻さを学習し、教師は対象児童に対し、「あなたは悪くない。」と言いつけることが何よりも大切であることを学ぶことができた。
10月12日	児童虐待防止ワークショップの検討
11月 6日	家庭・地域との連携についての研究 テーマ：「親から子への贈り物」 講 師：小学校の養護教諭 成果と課題：明るい展望をもって、虐待の連鎖を断ち切ることの大切さを学ぶことができた。しかし、心理的な虐待や性的虐待は周囲の人間も気づきにくい。全ての大人が児童虐待に関心を深め、早期に気づいて防止することが必要である。
16日	児童虐待防止ワークショップの開催 内 容：「暴力から自分を守る力を子どもに」と題した児童虐待防止ワークショップ 成 果：子どもを暴力から守るために、「大人が子どもの話をじっくりと聞くこと」と「子どもの立場にたって考えること」の大切さを学ぶことができた。

